

2020年度 常磐短期大学 成績評価基準・評価指標 (ルーブリック)

評定	S	A	B	C	D
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
GP	4	3	2	1	0

* 各授業科目ごとに評価項目から必須項目の「理解度」を含む3～5項目(任意)を選択して設定してください。

評価項目		評価基準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している (S)	授業内容の習熟を達成している (A)	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している (B)	到達目標を達成している (C)	到達目標を達成できていない (D)
知識・ 理解、 汎用的能力	理解度 (必須)	授業内容を超えた学修が認められる	授業内容をほぼ理解している	到達目標は理解しているが、授業内容の理解に不足がある	到達目標に達していることが認められる	到達目標に達していない
	言語表現能力	課題について説得力をもって説明ができる	課題について聴き手の関心を引く説明ができる	課題について、曖昧な点を残さず説明できる	課題について曖昧な点はあるが、ほぼ説明できる	課題について聴き手に説明できない
	分析能力	資料・データを客観的に分析し、それを他人に平易に説明できる	資料・データを自力で適切な方法で分析し、自分の言葉で説明できる	他者の意見を参考にすれば、資料・データを分析し、説明できる	教員のアドバイスがあれば、資料・データを分析できる	教員のアドバイスがあっても資料・データを分析できない
	実践能力	授業内容を客観的に整理し、学修範囲を超えて実践できる	授業内容を整理し、ほぼ実践できる	授業内容を整理し、80%程度実践できる	到達目標に達していることが認められる	到達目標に達していない
	課題発見能力	授業内容を整理し、学修範囲を超えた独自の視点を示すことができる	授業内容を整理し、新しい視点を示すことができる	授業内容にもとづく視点を示すことができる	教員のアドバイスがあれば課題を意識できる	教員のアドバイスがあっても課題を意識できない
	課題解決能力	優れた方法を用いて課題を解決することができる	適切な方法で課題をほぼ解決することができる	参考例などを参照しながら課題を80%程度解決することができる	教員のアドバイスを参考にしながら課題を解決することができる	教員のアドバイスがあっても課題を解決できない
	調査・資料作成能力	課題の理解について参加者の思考を拡げる多面的な資料を作成できる	課題の理解が深まるように構成された資料を作成できる	課題の理解を促す、読みやすい資料を作成できる	課題の理解に必要な最低限の情報を含む資料を作成できる	課題の理解につながる資料を作成できない
	文章作成能力	授業内容に関する思考を、説得力ある内容・表現で記述できる	授業内容に関する思考を、論理的な内容・表現で記述できる	授業内容に関する思考を、不足する点はあるが記述できる	授業内容に関する思考を、他者がほぼ理解できる程度には記述できる	授業内容に関する思考を、適切に記述できない
	計算能力	授業内容に必要なとされる計算をほぼすべて正しく正解を導ける	授業内容に含まれるすべての基礎的問題に正解し、応用的問題もある程度正解を導ける	授業内容に含まれる基礎的問題をほぼ正解でき、応用的問題も考え方を示せる	授業内容に含まれる基礎的問題についておおよそ正解を導ける	授業内容に必要な計算について正解を導くことができない
専門職業能力	職業に関する知識・技能について学修範囲を超えて説明できる	職業に関する知識・技能について曖昧な点を残さず説明できる	職業に関する知識・技能について、不足する点はあるが説明できる	職業に関する知識・技能について他者が理解できる程度には説明できる	職業に関する知識・技能について説明できない	
態度・志向性	協働性	授業内の活動で活動の目標に即した自らの役割を十分に理解して果たすこと	授業内の活動に、自分の役割を意識して参加することができる	授業内の活動に、他の受講生と協力して参加することができる	授業内の活動に参加はするが、みずから動こうとはしない	授業内の活動へ進んで参加しない、また指示に従わない
	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献する	授業全体の流れを理解し、発問に対して積極的に応じる	発問に対して、指名されれば正しく応じることができる	授業に集中して理解しようとする態度が見られる	授業に集中できず、授業放棄の態度が見られる
	事前・事後学修	自ら進んで学修範囲を超えて調べている	学修範囲を十分に調べて、授業内容を他人に説明できる	学修範囲の理解に曖昧な点がある	指示された範囲の事前・事後学修はするが、理解が不十分である	指示された範囲の事前・事後学修が不十分である
	計画力	PDCAサイクルに従って学修を行い、より高度な改善がみられる	PDCAサイクルに従って学修を行い、過不足なく学修目標に達している	PDCAサイクルに従って学修を行っている	学修にあたって計画を行っている	学修にあたって計画を行わない
	人間関係構築能力	円滑な人間関係を形成し、協力して行動・作業をすることで個人の活動を越えた高度な成果を上げている	円滑な人間関係を形成し、協力して行動・作業ができている	一般的な人間関係が形成できている	人間関係形成の意思がみられる	人間関係形成への意思が不十分である

* 評価項目を授業担当者が任意で設定することも可能です。その場合、評価基準の作成をお願いいたします。

任意評価項目		評価基準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している (S)	授業内容の習熟を達成している (A)	授業内容の習熟と到達目標の間にある	到達目標を達成している (C)	到達目標を達成できていない (D)
項目の例	創造力	創造に関わる環境をも自己で整備もしくは再整備し、自律的に高度な創造が行える	創造に関わる環境をも自己で整備もしくは再整備し、自律的に創造が行える	与えられた環境の中でより複雑な創造ができる	与えられた環境の中で簡単な創造ができる	創造できない
	表現能力	優れた創造的表現を行うことができる	文献等を参考としながら、創造的表現を行うことができる	自在に定型的表現を行うことができる	与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができる	与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができない